

磐梯山の火山活動解説資料

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

< 噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）が継続 >
磐梯山では、本日（8日）に火山性地震が増加し、14時現在で日回数は51回となりました。
地震活動以外の火山活動に特段の変化は認められません。
山体北側火口や沼ノ平付近では、噴気や火山ガスの噴出等が見られます。ヘルメットの携行や立ち入り規制等地元自治体の示す指示に従ってください。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

・地震や微動の発生状況（図1～図3）

本日（8日）05時から13時にかけて火山性地震が一時的に増加し、14時現在で日回数は51回（速報値）となりました。震源は山頂付近の深さ1kmから2km付近と推定されます。最大の地震は11時29分頃に発生した地震で、^{ほんなん}磐南観測点で最大振幅（上下成分）は16.0 μ m/sでした。磐梯山では、これまでも同じ所で一時的な地震回数の増加がみられ、2017年8月27日には日回数71回を観測しています。

低周波地震¹⁾及び火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図4、図6）

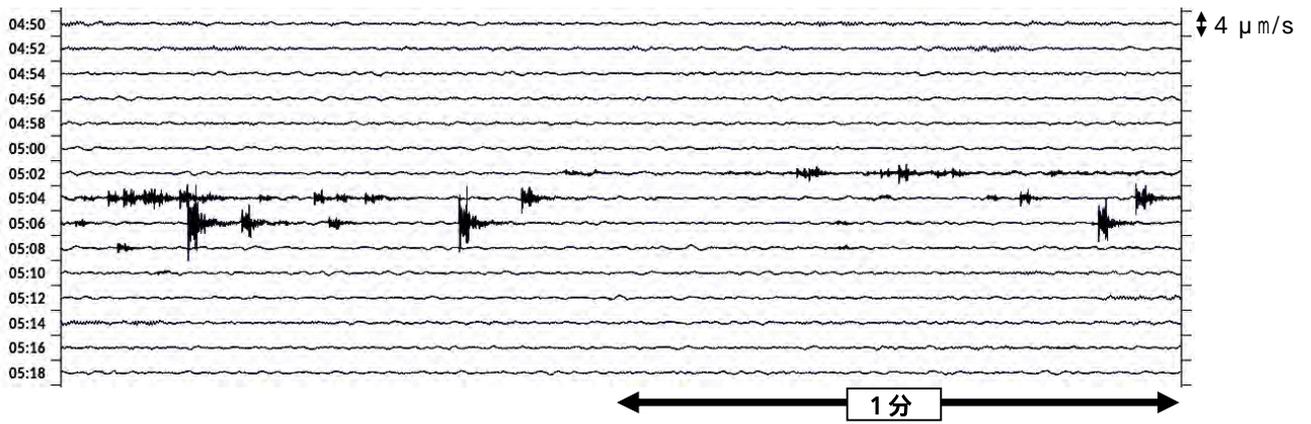
火山活動によると考えられる特段の変化は認められません。

1) 火山性地震のうち、P波、S波の相が不明瞭で、火口周辺の比較的浅い場所で発生する地震と考えられ、主に1～3Hzの低周波成分が卓越した地震です。火道内の火山ガスの移動やマグマの発泡など火山性流体の動きで発生すると考えられています。火山によっては、過去の事例から、火山活動が活発化すると多発する傾向がある事が知られています。

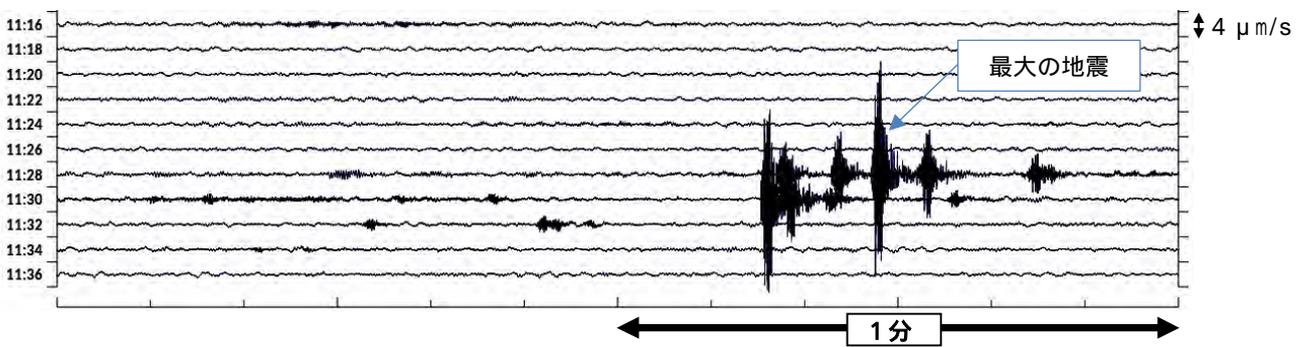
この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院及び東北大学のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 29 情使、第 798 号）。



(2018年5月8日04時50分~05時20分)

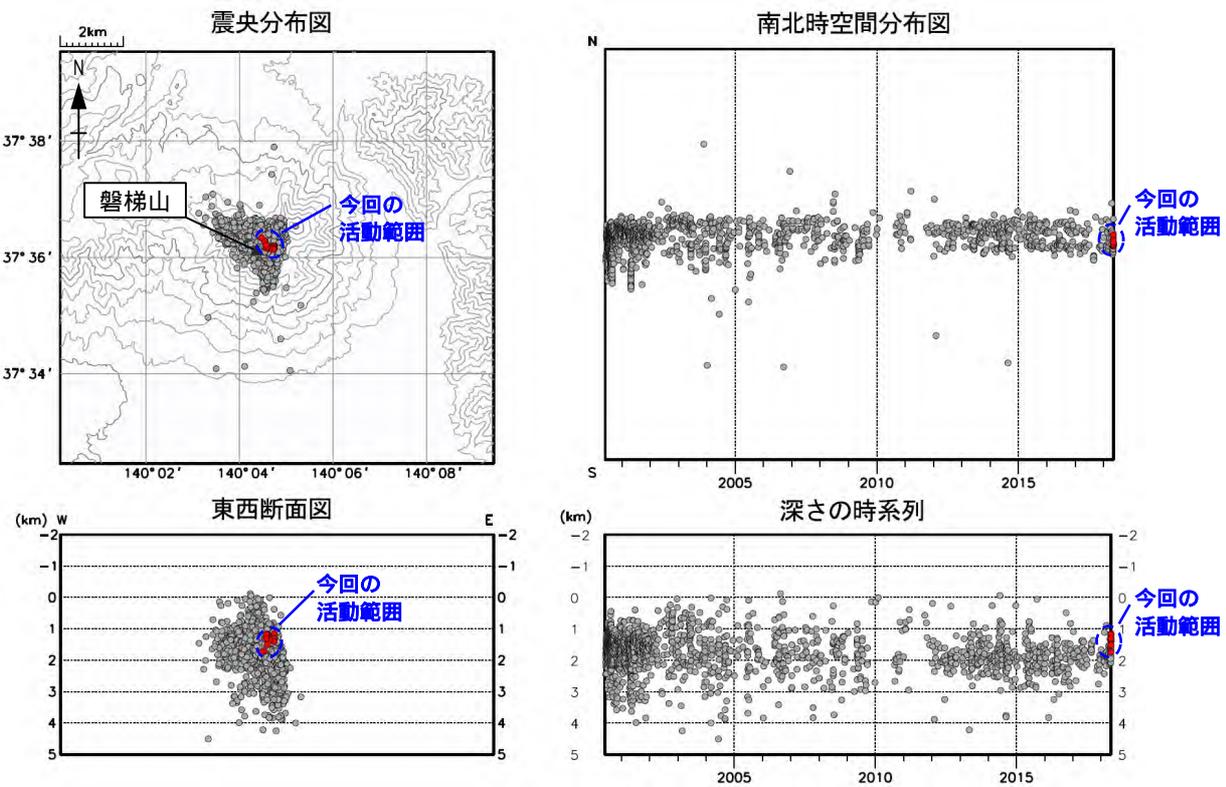


(2018年5月8日11時16分~11時38分)

図1 磐梯山 火山性地震の発生状況(磐南観測点 上下動)



図2 磐梯山 日別地震回数 (2000年1月～2018年5月8日14時)



：2018年5月8日 ：2000年6月1日～2018年5月7日

図3 磐梯山 地震活動図 (2000年6月～2018年5月8日14時)

・2002年4月1日から震源計算方法を変更しました。

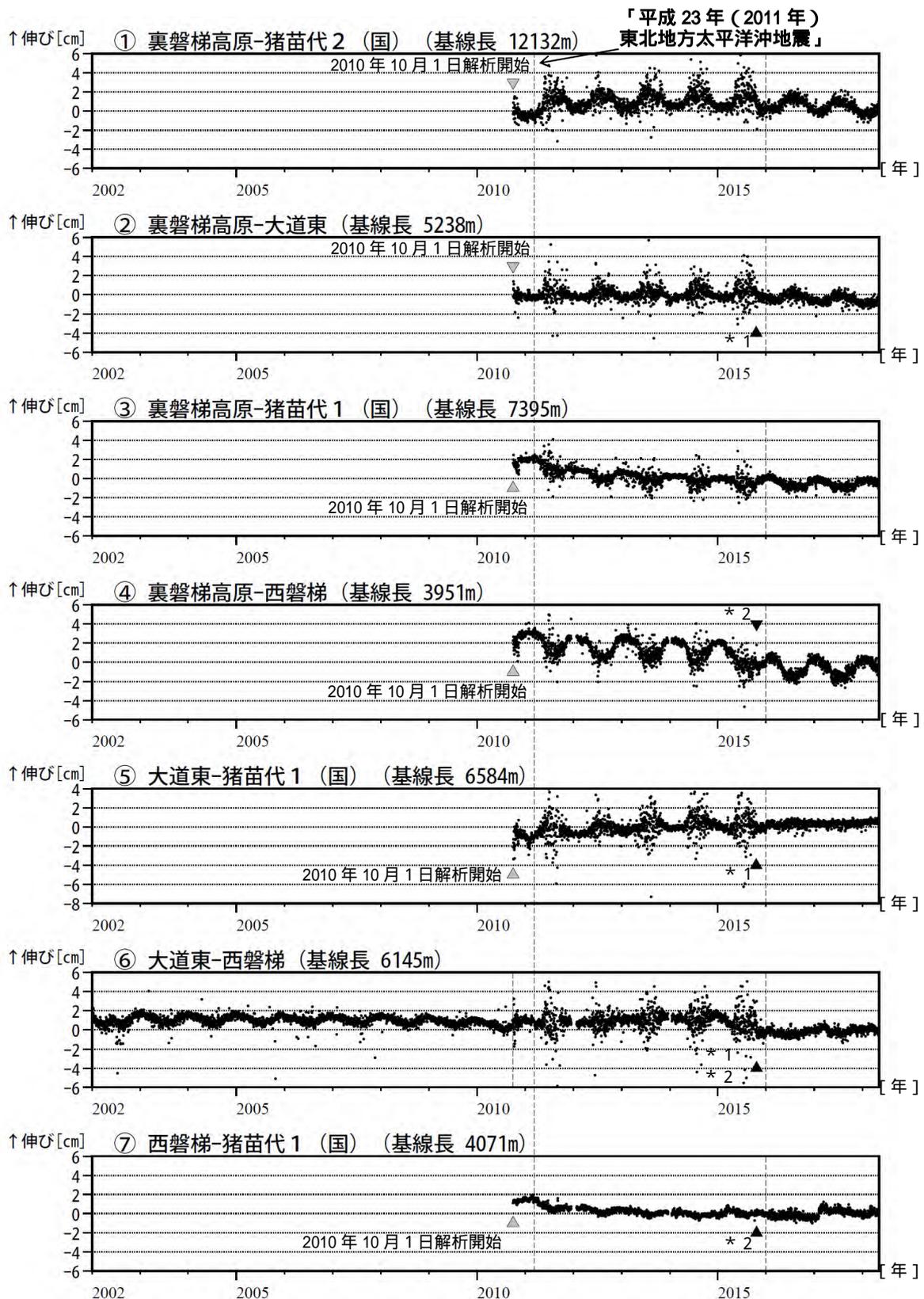


図4 磐梯山 GNSS²⁾基線長変化図(2002年1月~2018年5月6日)

- ・ 2010年10月及び2016年1月に、解析方法を変更しています。
- ・ 「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
- ・ ~ は図6のGNSS基線 ~ に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
- ・ (国)は国土地理院の観測点を示します。
*1: 大道東観測点の機器更新及び移設を行いました。*2: 西磐梯観測点の機器更新及び移設を行いました。
西磐梯観測点に起因する変化で、火山活動によるものではないと考えられます。
- 2) GNSSとはGlobal Navigation Satellite Systemsの略称で、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示します。

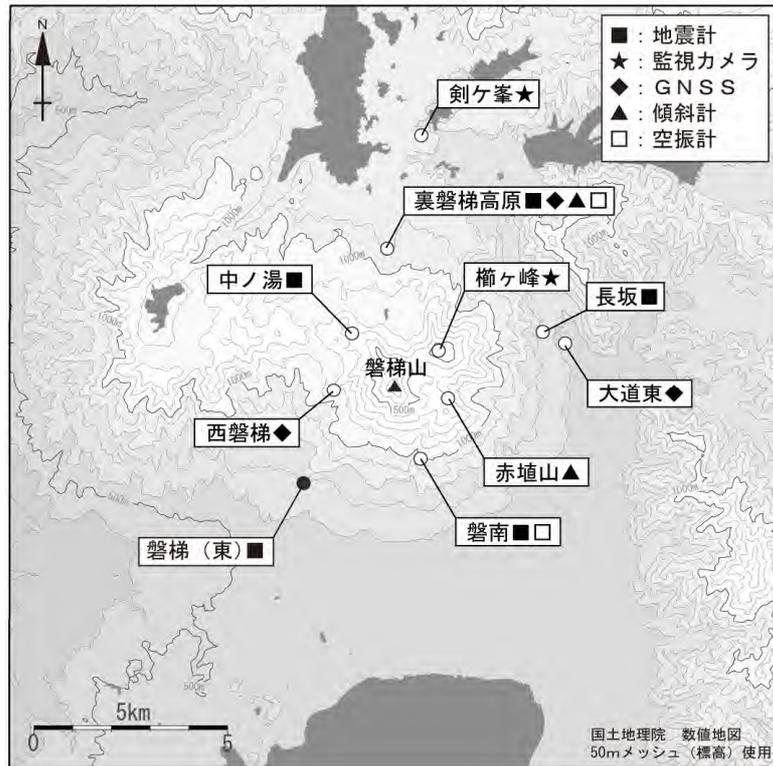


図5 磐梯山 観測点配置図

小さな白丸()は気象庁、小さな黒丸()は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(東)：東北大学

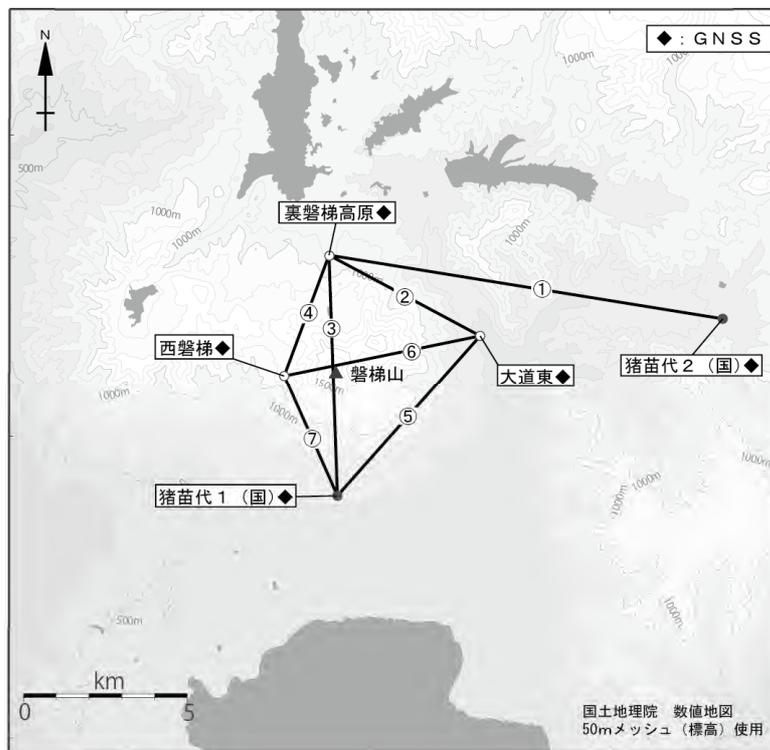


図6 磐梯山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸()は気象庁、小さな黒丸()は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国)：国土地理院